

問1 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？

1. 律令制度                      2. 摂関政治                      3. 公地公民制                      4. 封建制度

問2 中大兄皇子らが中心となり、豪族が支配する政治を改め、天皇中心の国家を目指した政治改革を何という？

1. 応仁の乱                      2. 壬申の乱                      3. 承久の乱                      4. 大化の改新

問3 飛鳥時代、仏教の採用をめぐる蘇我氏と激しく対立した有力豪族を何という？

1. 大伴氏                      2. 蘇我氏                      3. 中臣氏                      4. 物部氏

問4 奈良県の法隆寺などが代表する、現在世界で最も古い建物群のことを何という？

1. 石造建築                      2. レンガ造建築                      3. コンクリート建築                      4. 木造建築

問5 飛鳥文化を象徴し、聖徳太子によって建立されたとされる奈良県にある寺院は何？

1. 興福寺                      2. 法隆寺                      3. 薬師寺                      4. 東大寺

問6 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？

1. 持統天皇                      2. 聖武天皇                      3. 天武天皇                      4. 天智天皇

問7 大津宮への遷都などを通じて基礎が築かれた、天皇中心の法に基づく国家を何という？

1. 封建国家                      2. 中央集権国家                      3. 律令国家                      4. 古代国家

問8 壬申の乱に勝利して即位し、天皇中心の国づくりを進めた天皇は誰？

1. 天智天皇                      2. 聖武天皇                      3. 天武天皇                      4. 桓武天皇

問9 豪族中心の政治から脱却し、天皇が権力を集中させる国家体制を何という？

1. 氏姓制度                      2. 中央集権                      3. 封建制度                      4. 地方分権

問10 釈迦三尊像などに見られる、左右の形が同じになっている特徴を何という？

1. 左右対称                      2. 和様                      3. 大仏様                      4. 禅宗様

問11 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

1. 班田収授法                      2. 口分田                      3. 公地公民                      4. 租庸調

問12 日本が隋や唐の国家体制を手本にして、後に整えていった法典に基づく統治のしくみを何という？

1. 班田収授法                      2. 大化の改新                      3. 律令制度                      4. 封建制度

問13 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？

1. 大宝律令                      2. 冠位十二階                      3. 十七条の憲法                      4. 大化改新の詔

問14 663年、日本軍が唐・新羅の連合軍に敗れ、百済の復興に失敗した戦いを何という？

1. 元寇                      2. 承久の乱                      3. 白村江の戦い                      4. 壬申の乱

問15 663年、日本が朝鮮半島での拠点を維持するために兵を送り、唐・新羅連合軍と戦った国を何という？

1. 高句麗                      2. 百済                      3. 任那                      4. 新羅

問16 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？

1. 大宝律令                      2. 十七条の憲法                      3. 大化の改新の詔                      4. 御成敗式目

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 律令制度	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を律令制度といいます。この制度により、中央政府が地方を支配し、すべての国民を戸籍で管理して税や労役を課するという中央集権的な国家体制が築かれました。
問2	答え 4 大化の改新	645年、中大兄皇子や中臣鎌足らは、強大な権力を持っていた蘇我入鹿を倒し、天皇中心の国づくりを目指す「大化の改新」を開始しました。彼らは「公地公民」を掲げ、土地や民を豪族の手から国家の管理下に移しました。また、税制の整備や中央集権的な統治を目指す制度の導入を行いました。
問3	答え 4 物部氏	物部氏は日本古来の信仰を守る立場から、蘇我氏が押し進める仏教の導入に強く反対しました。両者は政治的、宗教的に激しく対立しましたが、最終的に蘇我氏が勝利したことで、日本における仏教の公認が決定しました。
問4	答え 4 木造建築	法隆寺の西院伽藍は、現存する世界最古の木造建築物群として有名です。木材の特性を生かした緻密な接合技術や、金堂・五重塔に見られる建築様式は、当時の高度な土木・建築技術を今に伝えています。
問5	答え 2 法隆寺	法隆寺は奈良県生駒郡斑鳩町に位置し、7世紀初頭に聖徳太子が建立したと伝わります。日本で初めてユネスコの世界文化遺産に登録された歴史的建造物であり、釈迦三尊像などの飛鳥彫刻の名品も多く収められています。
問6	答え 4 天智天皇	天智天皇は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。特に、日本で初めて全国的な戸籍である「庚午年籍」を作成したことは、国が国民を把握し、税を確実に徴収するための非常に重要な転換点となりました。
問7	答え 3 律令国家	律令国家とは、国の決まりである「律」と「令」に基づいて、天皇が全国を統治する国家の形です。都に政治の中心を置き、官僚が整備され、国民は公地公民（土地と人民は天皇のもの）という原則のもとで戸籍に登録されました。これにより、日本は法治主義的な性格を強めた国へと生まれ変わりました。
問8	答え 3 天武天皇	天武天皇は、即位後に天皇中心の政治体制を整えました。皇親政治を行いながら、律令制度の導入に向けた整備や、歴史書の編纂を命じるなど、国家としての骨格作りを行いました。
問9	答え 2 中央集権	飛鳥時代から大化の改新を経て目指されたのが「中央集権」です。地方の豪族から土地や民を公のものとする「公地公民」を掲げ、中央政府が全国を一括して管理するシステムを構築しました。
問10	答え 1 左右対称	釈迦三尊像に見られる「左右対称」の形は、当時の大陸の様式を忠実に受け継いだ証拠です。中心の仏像の両側に脇侍を配し、均整のとれた安定感のある姿を作ることで、仏の尊厳や穏やかさを表現しました。
問11	答え 3 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問12	答え 3 律令制度	律令制度とは、刑罰を定めた「律」と、行政や税の決まりである「令」からなる法体系のことです。飛鳥時代の聖徳太子の時代から準備が始まり、大陸の制度を参考にしながら、天皇を頂点とした官僚的な政治システムを構築しました。これにより全国の土地や人々を直接管理することが可能となりました。
問13	答え 3 十七条の憲法	604年に制定されました。役人が守るべき心構えを全17条で記しており、その第2条には「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」が説かれています。儒教的な考え方や仏教の教えに基づき、和を大切にすることなどを強調しました。
問14	答え 3 白村江の戦い	663年、現在の韓国付近にある白村江（はくすきのえ）という場所で、日本軍は唐と新羅の連合軍と激突しました。しかし、最新の戦術を持つ連合軍に日本は完敗しました。
問15	答え 2 百濟	663年、唐と新羅が協力して百濟を滅ぼそうとした際、日本は百濟を助けるために軍を送りました。しかし、白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗し、朝鮮半島における政治的な拠点を完全に失うことになりました。
問16	答え 2 十七条の憲法	604年に聖徳太子によって制定された「十七条の憲法」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。特に「和をもって貴しとなす」という言葉が有名で、天皇への服従や、仏教を重んじることを説いています。